

職場環境の改善と有事を最優先へ

横浜市会議員 伏見ゆきえ

昨年第三回市会定例会決算特別委員会で市民局に「区役所における土木事務所」について質問をしました。

平成17年度に土木事務所が各区役所に編入されたことで現在、その管轄

は道路局ではなく、市民局になっています。市民局に身近な存在となった一方で、職場環境の改善を妨げ、有事の際への備えを鈍らしてしまうのではと危惧しています。さらに土木事務所は環

境創造局の業務も兼務しています。様々な課題を市民局が橋渡し役となり、道路局や環境創造局など関係局と連携していくべきと要望しました。

女性職員への配慮を

土木職員の男女比は近年大きく変化しています。その結果、女性職員の宿泊場所が更衣室であったり、シャワー室に設備不足があったりと環境への課題を視察時に確認しました。男女問わず職場環境が快適であるこ

とは仕事のモチベーションに繋がります。安心し働ける環境を提供できるよう努力していきます。

また現在、職員は選挙

時に投票所の立ち上げや待機などの業務も担っています。しかし大雪注意報や震度4以上の地震発生時には直ちに必要な人員を召集し、災害発生時に緊急対応する必要があります。人員配置にはあります。人員配置にはあらかじめその配慮が必要です。市民に身近な存在となった土木事務所ですが、重要な業務を担う存在だからこそ、様々な課題も残されています。職場環境の充実や最優先すべき有体制など、今後にも市に求めていきます。



伏見ゆきえ

1968年川崎生まれ横浜育ち。私立椿女子高卒業後、歯科医院、ヤクルトレディーなどを経て2015年に横浜市会議員初当選。現在2期目。連絡事務所／〒244-0816 戸塚区上倉田町390-1表ビル1-B ☎045・443・5757 / FAX 045・443・5671 / Facebookで日々の活動更新中!